

1億円産地を目指して!

満員御礼!



菌ちゃん先生 講演会開催!



7月17日、笹神ふれあい会館にて、菌ちゃん先生こと吉田俊道さんをお迎えし、講演会を開催しました。菌ちゃん先生は、長崎県佐世保市に拠点を置き、肥料・農薬を使わず、微生物(菌ちゃん)の力で野菜を育てる「菌ちゃん農法」を普及しています。

当日の来場者は230名と、市内外から定員を大きく超える来場があり、大盛況でした!

講師：吉田 俊道(よしだ としみち)氏

- ・株式会社菌ちゃんふぁーむ 代表取締役
- ・NPO法人大地といのちの会 理事長



▲菌ちゃん農法について
熱く語る吉田さん

1996年、長崎県の農業普及員を辞め、有機農家として参入。自身の普及する「菌ちゃん農法」はYouTubeなどでも多数取り上げられており全国的に注目を集めています。

吉田さんは、「虫の役割は不健康で弱った野菜を食べて分解すること。元気な野菜には虫はつかない」として、野菜と共生関係を結び、栄養を供給してくれる糸状菌に着目しています。



◀菌ちゃんふぁーむ
のホームページ

講演会のまとめ

- ・菌ちゃん農法とは?

炭素分の多い有機物(枯草や籾殻、竹など)を高さ約45cmの畝の上に盛り、その上に薄く土をのせ、マルチを張ります。

糸状菌は野菜の根に侵入し、広い範囲から養水分を根に運んだり、



▲菌ちゃん農法の畝。
炭素分の多い有機物(竹など)を投入。

空気中の窒素を固定してくれるので、この糸状菌が活躍できる環境を作ります。

- ・食と健康のお話

「菌ちゃん農法」は菌の力を活かすもの。発酵(≠腐敗)が重要ですが、これは人間にも同じ事が言えます。よい菌を取り、しっかり作用させるよう、有機農産物を、よく噛んで食べる事が重要です。

阿賀野市では、現在オーガニックビレッジ宣言に向けて取り組みを進めています。有機栽培は、特に笹神地区を中心に米の生産が盛んですが、この機に野菜の有機栽培にもぜひ挑戦してみてください! また、今まで家庭菜園だった方も、直売所などでの販売に挑戦してみませんか?

★JA・農林課・普及センターでは、さまざまな品目の栽培指導や支援を行うなど、園芸生産をサポートしています。ご興味がある方は下記までお問い合わせください。

- | | | |
|---------|-----------------------------|-----------------|
| 【問い合わせ】 | ○JA新潟かがやき あがのアグリセンター(樋口・中島) | TEL62-2235 |
| | ○JA新潟かがやき ささかみアグリセンター(石山) | TEL25-7252 |
| | ○阿賀野市農林課農林振興係(直通) | TEL61-2478 |
| | ○新発田農業普及指導センター(野菜) | TEL0254-26-9126 |
| | ○新発田農業普及指導センター(花・果樹) | TEL0254-26-9155 |

「環境負荷低減のクロスコンプライアンス」が始まりました。

農林水産省の全ての補助事業等において、最低限行うべき環境負荷低減の取組の実践を要件化する「環境負荷低減のクロスコンプライアンス」が始まりました。これから、農林水産省の補助事業等を受ける場合には、最低限の環境負荷低減の取組が必要になります。

○なぜ農林水産業で環境負荷低減に取り組まないといけないの？

農林水産業は環境によい多面的機能がある一方で、環境に負荷を与えている側面もあります。

このため、日ごろの農作業の中で環境への負荷を減らすよう、環境にやさしい最低限の取組を行うことが重要です。

また、こうした取り組みを行うことが消費者の理解にもつながります。



「環境負荷低減のクロスコンプライアンス」の7つの基本的な取組とポイント



熱中症予防のポイント

連日高温が続きます。農作業の際は、下のポイントを押さえて熱中症を予防しましょう！



高温時の作業は避ける



単独作業は避ける



休憩と水分補給



熱中症対策アイテム

阿賀野市園芸品目ガイド

阿賀野市農業振興協議会では、既存産地の維持拡大と新規生産者の参入を目的に、園芸おすすめ22品目について記載した「阿賀野市園芸品目ガイド」を作成しています。阿賀野市ホームページに掲載していますので、右の二次元コードからご覧ください。



阿賀野市のホームページからもご覧いただけます！

阿賀野市 園芸情報

検索

もしくは、二次元コードを読み取ってください。

